

講演会&CD コンサート「21世紀のクラシックレコード事情」開催

毎度、当会の活動をご支援いただきありがとうございます。

お陰様で今年6月に開催した「巨匠カール・ベームの思い出」には、名古屋、福島からも音楽ファンがかけつけ大きな反響を呼びました。

さて、今年年末特別企画として、元「レコード芸術」編集長、野沢龍介氏をお招きし、「21世紀のクラシックレコード事情」と題して、講演会&CD コンサートを開催することになりました。

クラシックレコード業界は20世紀後半、カラヤン、バーンスタインといったスター指揮者の登場とデジタル技術（CD）の融合により活況を呈しましたが、21世紀に入って急激に衰退しております。しかし、昨今、ハイブリットCDの登場により、往年の名盤が高音質で復活し、音楽・オーディオマニア層の注目を浴びております。

この新事情を音楽・オーディオ界の情報発信の第一人者である野沢龍介氏に話題のハイブリットCDを再生しながら解説していただきます。

記

日時：2011年12月3日（土）14時～16時30分

会場：竜ヶ崎ショッピングセンター「リブラ竜ヶ崎」2階旧映画館

関東鉄道・竜ヶ崎駅徒歩3分（無料駐車場完備）

テーマ：「21世紀のクラシックレコード事情」

（ハイブリットCD制作現場の解説と試聴）

試聴予定曲目：①フルトヴェングラー指揮・バイロイト祝祭管「第9」

②ミュンシュ指揮・パリ管弦楽団「幻想交響曲」

③クライバー指揮・バイエルン国立歌劇場「こうもり」

（私のジャズ愛好盤比較試聴）

① ソニー・ロリンズ「ウェイ・アウト・ウエスト」

② アート・ペッパー「ザ・リズム・セッション」

講師：野沢龍介（元「レコード芸術」編集長）

入場料：無料 問合せ：井原（0297-62-2214）

以上

（講師略歴）1952年、東京・神楽坂生まれ。1974年、音楽之友社入社。「ステレオ」副編集長を経て「レコード芸術」編集長に就任。2003年、音楽之友社退社、フリーに。

「クラシック超入門」（河出書房新社）、「クラシック人生の100枚」（音楽之友社）、「伝説のクラシックライヴ」（TOKYO FM 出版）等、執筆・監修。